

はじめに

教職課程センター長 高橋 克

2020年度は新型コロナウイルス感染症の流行による感染防止対策として、「三密」(密集、密接、密閉)を避ける観点から、学校教育の現場が休校措置や人数制限など未だかつてない事態に遭遇し、対応に追われました。大学も同じように対応に追われ、授業が対面からリモート中心に変容しました。さらに緊急事態宣言の発出により外出や移動の制限等により、社会の活動も制限されるようになりました。社会は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に沿って変容を余儀なくされ、学校教育も混迷の一年でした。

そして、ICT機器を活用したポストコロナの新たな学びの世界が出現し始めています。この学びの変革を担う教員は、より高度な資質と能力、変化を自らがリードするような先進性や創造性が求められます。そのため、教員養成には「学び続けることが当たり前の教員」の育成が求められます。

江戸川大学教職課程センターは、教員を目指す学生たちに教員に必要な、教科科目の専門領域における高度な知識と実践力と一般常識を備えるための支援をおこない、さらに生涯学び続ける意識の高い教員の育成を目指しています。

これまで、教員養成に熱意を持って取り組む教員の活動は、その指導に応え自ら進んで教員としての資質を向上させようとする真摯な学生の学びによって、着実に教員免許状を取得する学生を輩出し、希望をかなえ教員として教壇に立つ卒業生も出ています。この紀要が、江戸川大学の教員陣の更なる研鑽の場として、江戸川大学の教職課程を応援してくださる多くの関係者の皆様の学究的情報発信の場として機能するよう整備し、江戸川大学の教職課程がさらに充実するように努めたいと思っております。

今号を契機に、私ども江戸川大学の教職課程に対する率直なご意見、ご指導とともに益々のご理解ご支援をいただければ幸いです。